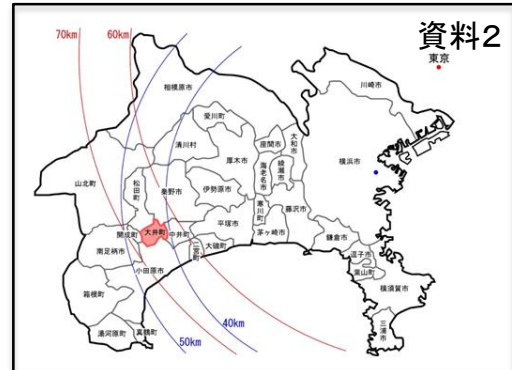


# 令和3年度 大井町地域公共交通会議 (神奈川県大井町) (地域公共交通計画策定事業)

資料2



## 公共交通の概況・地域の特徴

### ○公共交通の概況

大井町では、路線バス(富士急湘南バス株)、鉄道(JR御殿場線)、高速バス、タクシー が運行されており、平成19年度から令和2年度までは高齢者や障がい者等へのサービスとして巡回福祉バス「ふれあい悠悠」を運行していた。これら公共交通サービスのほか、社会福祉協議会で実施中の移送サービス事業など多様な輸送資源が存在している。

### ○地域の特徴

町域の西部は平坦地であり、公共施設、店舗、医療施設等の主要施設が多く立地しているが、東部は起伏に富んだ丘陵地となっており、自然環境を活かした農業体験施設等が立地している。

## 地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、利用者が減少している丘陵地における路線バスの減便、また、免許返納後の移動手段の確保、さらには役場北側の大井中央土地区画整理事業や大井中央公園の完成による新たな交通ネットワークの構築などの課題を抱えており、公共交通の維持や既存の公共交通網を見直す必要がある。

このことから、これまで運行していた巡回福祉バス「ふれあい悠悠」から対象者を全ての方に拡大して実証運行(運賃無料)を実施し、持続可能な公共交通システムの構築を図るとともに、輸送資源の総動員により地域旅客運送サービスの持続可能な提供を確保するため、町にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにする「大井町地域公共交通計画」を策定する必要がある。

## 調査の内容

### ①大井町地域公共交通計画素案作成

令和元年度・2年度に実施した調査業務等を踏まえ、地域公共交通を取り巻く課題を整理し、基本方針及び計画目標を定めた。それを基に、目標を達成するために行う実施事業を抽出し、事業概要、実施主体及びスケジュールを整理する。

さらに、計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、評価指標を設定する。

### ②パブリックコメントの実施

大井町地域公共交通計画素案について、広報誌やホームページ等によりパブリックコメントを実施し、広く意見を聴取する。

### ③大井町地域公共交通計画(案)のとりまとめ

パブリックコメントを踏まえ、大井町地域公共交通計画(案)をとりまとめる。

### ④新たな公共交通システムの実証運行の実施・評価

令和2年度に策定した実証運行計画を基に実証運行を実施する。

利用者に対しアンケート調査を実施するとともに、利用実績の集計等を分析し、実証運行の評価を行う。

実証運行の内容を大井町地域公共交通計画に反映する。

### ⑤令和4年度新たな公共交通システム見直し計画(案)のとりまとめ

実証運行に対する評価を踏まえ、令和4年度実証運行計画(案)をとりまとめ、大井町地域公共交通計画に反映する。

### ⑥大井町地域交通会議の開催

年度末までに計4回開催する。(書面協議含む。)

面積	14.38km <sup>2</sup>
人口 (R3.4.1時点)	17,156人
15歳未満	2,015人
65歳以上	4,858人
高齢化率	28.31%
世帯数	7,128世帯

## 協議会開催状況

### ○協議会の開催状況 4回開催

- ・1回目(7月26日)  
交通計画の実施事業・評価指標  
実証運行の中間評価
- ・2回目(12月13日)  
地域公共交通計画素案について  
実証運行の評価  
令和4年度おおいゆめバス運行  
計画案について
- ・3回目(1月下旬)  
事業評価(書面協議)
- ・4回目(2月中下旬開催予定)  
パブリックコメントの結果報告  
地域公共交通計画原案について

## 調査事業の結果概要

地域特性や公共交通の現状分析、アンケート・ヒアリング等を通して、「①高齢者・障がい者及び児童・生徒等、交通弱者への対応」、「②家族等による送迎の負担の軽減」、「③公共交通同士の接続と広域アクセスの改善」、「④過度な車利用の抑制と地域の輸送資源の維持」といった4つの課題を明らかにした。

これら課題解決へ向けて、3つの基本方針と、方針を実現するための5つの計画目標、目標ごとに16の実施事業を掲げた。さらに、計画の達成状況を評価するための評価指標として利用者数、収支率、行政負担額などといった目標値を設定し、地域公共交通計画をとりまとめた。

おおいゆめバスの実証運行により、高齢者で運転免許証を持っていない方の移動手段として、必要不可欠な移動手段であり、有料化になった場合でも利用意向が高いことが分かった。また、令和3年10月から加えた土曜日の運行について、一定の利用があり、今後も継続的に運行していくことが必要であることが分かった。これら評価結果を踏まえ、令和4年度おおいゆめバス運行計画を策定し、実施事業に反映を行った。

## 計画の策定方針(基本方針案、予定する主要事業等)

【基本理念】「未来へつなごう！みんなが気軽におでかけできるまち」

【基本方針案】

- ①町内を移動しやすい公共交通網の充実
- ②町外へ移動しやすく、乗継しやすい公共交通網の構築
- ③安心して公共交通を利用できる環境の整備

【予定する主要事業等】

- ①大井町巡回バス「おおいゆめバス」の運行
- ②互助輸送サービスの仕組みづくりの構築
- ③公共交通マップの作成・配布
- ④おでかけモデルプランの作成・配布
- ⑤商業施設等との連携サービスの導入 など

## アピールポイント

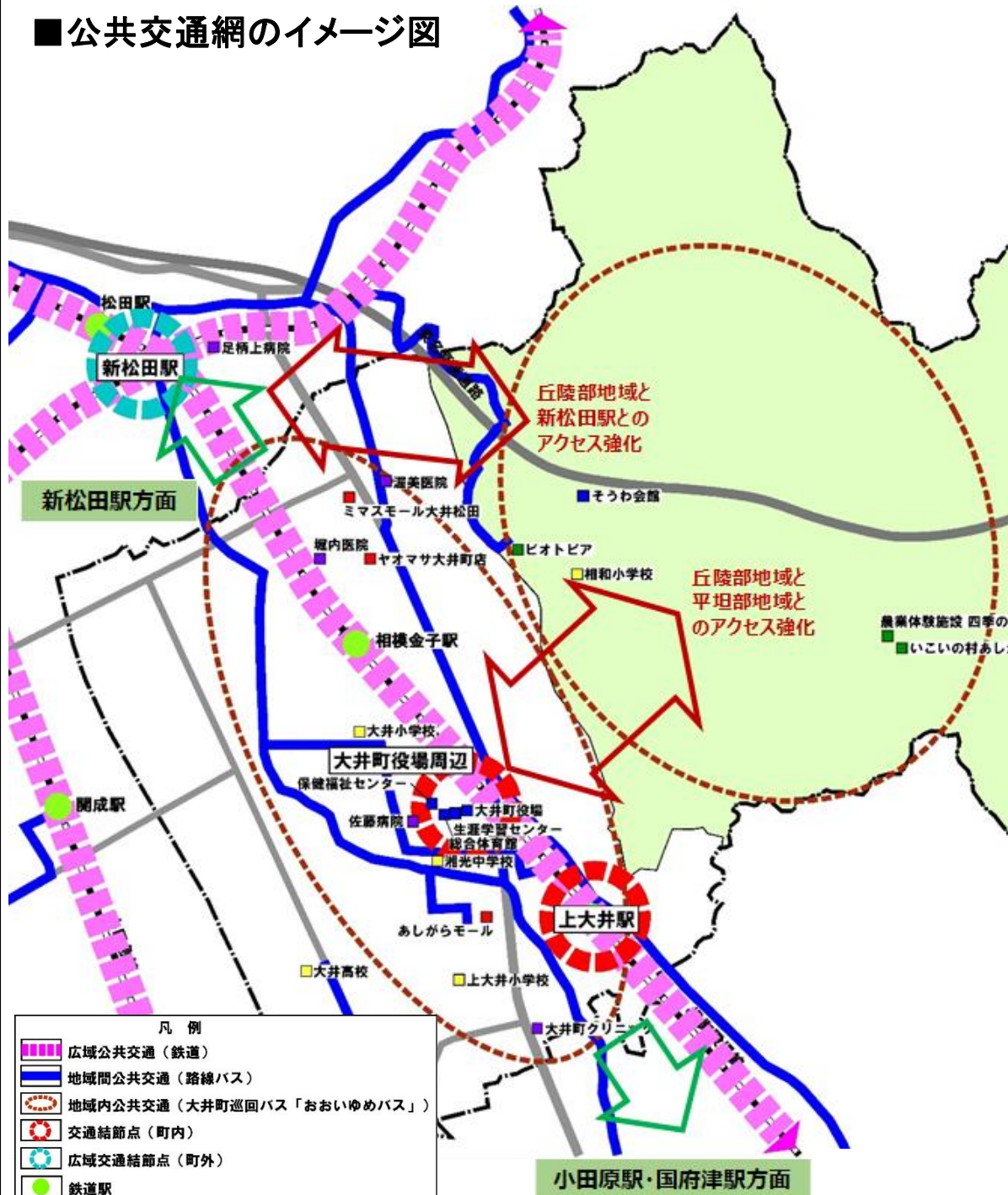
- ・町民アンケート調査において、人口が少なく、路線バスの便数も極端に少ない丘陵地に住む町民の意見をより多く集めるため、丘陵地の全戸にアンケート用紙を配布した。
- ・より多くの方からアンケートを回収するため、1世帯に対し、世帯主票1票と個人票2票を同封した。
- ・地区ごとの特性や意見を聴取し、アンケートでは拾い切れない生の意見を把握するため、地区別ヒアリングを実施した。
- ・町としてどのような公共交通が望ましいかについて、広報により広く意見を募集した。
- ・町民の意見だけでなく、交通事業者や関係団体からも意見を伺った。

## 次年度以降の取組概要

- 大井町巡回バス「おおいゆめバス」の運行
- 互助輸送サービスの仕組みづくりの構築
- 地域輸送資源の活用
- タクシー利用促進
- 路線バスの利用促進
- まちづくりの進捗に合わせた公共交通網の再編
- JR御殿場線の利便性向上と利用促進
- 高速バスの利用促進

- 交通結節点の機能強化
- 公共交通マップの作成・配布
- おでかけモデルプランの作成・配布
- 利用しやすい車両の導入促進
- 運転免許自主返納等のため高齢者の移動支援
- 新型コロナウイルス感染症等予防の対策及び周知
- 商業施設等との連携サービスの導入
- 運転手の確保策の実施

# ■公共交通網のイメージ図



- ①大井町巡回バス「おおいゆめバス」の運行による丘陵部地域と平坦部地域、新松田駅とのアクセス強化
- ②交通結節点(大井町役場周辺、上大井駅、新松田駅)での機能強化
- ③周辺自治体との連携・協力による広域アクセス(新松田駅、小田原駅・国府津駅)の強化
- ④既存公共交通を補完する移送サービス、互助輸送サービスによる移動手手段の確保

凡例

	広域公共交通（鉄道）
	地域間公共交通（路線バス）
	地域内公共交通（大井町巡回バス「おおいゆめバス」）
	交通結節点（町内）
	広域交通結節点（町外）
	鉄道駅

# ■令和4年度おおいゆめバス本格運行ルート図

